

2022年11月9日

## フィンランドでロータリーキルン炉の機器供給などを受注 (当社グループ Hitachi Zosen Inova Steinmüller GmbH)

ごみ焼却発電プラントの設計や建設、保守などを展開する Hitachi Zosen Inova Steinmüller GmbH (ドイツ、以下、HZI Steinmüller) は、このほど、フィンランドの電力会社である Vantaan Energia Oy (以下、Vantaan 社) より、有害廃棄物処理プラントにおける主要設備であるロータリーキルン炉やボイラーなどの設計・機器供給および据付・試運転時の SV 派遣業務 (技術指導) などを受注しました。

Vantaan 社は、Vantaa 市および Helsinki 市が共同出資する電力会社で、化石燃料の段階的使用廃止や循環型経済の推進などを目標に掲げており、化石燃料を使用しないでエネルギーを生産する手段の1つとして、廃棄物発電プラントの運営も行っています。

Vantaan 社は、Vantaa 市東部の Pitkäsuoontie にストーカ式の廃棄物発電プラントを2つ有しており、1つは HZI Steinmüller の親会社である Hitachi Zosen Inova 社 (スイス、以下、HZI) が2014年に、もう1つは HZI Steinmüller が2022年に完成させたものです。

今回、新たに建設するのは、塗料や鉱物油などの高温処理が必要とされる有害廃棄物を処理するため、ロータリーキルン炉 (1炉、40,000 t/年) が採用されます。HZI Steinmüller はこれまで62件のロータリーキルン炉の納入実績を有しており、Vantaan 社の既存の廃棄物発電プラントの建設実績もあることから、今回の受注に至りました。

稼働は2025年の夏を予定しており、夏期には約11.9MW (約1,300世帯分)、冬期には約17.5MW (約1,750世帯分) の熱供給が可能となります。

HZI Steinmüller は、2022年2月に HZI の100%子会社 (当社の間接100%子会社) となり、本年7月には英国・スコットランド向けの主要機器供給を受注するなど、当社グループとして順調に事業活動を再開しています。

当社グループは、今後もクリーンエネルギー技術を通じて、国連サミットで採択されたSDGs (持続可能な開発目標) の達成や循環型社会の実現に取り組んでいきます。

なお、本件の概要は次のとおりです。

1. 発注者: Vantaan Energia Oy (フィンランド、Vantaa 市)
2. 施設規模: 40,000 t/年 (ロータリーキルン炉)
3. 建設場所: Vantaa 市東部 Pitkäsuoontie の廃棄物発電施設内
4. 納期: 2025年夏 (予定)

<Hitachi Zosen Inova <sup>シュタインミュラー</sup> Steinmüller GmbH>

- 本社所在地：ドイツ ノルトラインヴェストファーレン州 Gummersbach
- 代表者：Thomas Kurt Feilenreiter (Managing Director)
- 事業内容：ごみ焼却発電プラントの設計・調達・建設・メンテナンスなど

(終)